



12/8 チーム一丸で1本の「タスキ」をつなぐ!

冷たい風が吹く中、総合公園とその周辺道路をコースに、第8回きたもと駅伝競走大会が開催されました。今年も市内外、遠くは県外から多くの選手たち(174チーム約830人)が参加し、日ごろから鍛えた健脚を競い合いました。沿道からは、仲間や観客から大きな声援があり、選手たちはチーム一丸となって1本のタスキをつなぎました。



1/10 日本考古学協会が「デーノタメ遺跡」の保存・活用の要望書を提出

「デーノタメ遺跡」を保存し、国指定史跡へ向けた計画の立案と実行などを主旨とする要望書が、(一社)日本考古学協会から市長と教育長宛てに提出されました。協会はデーノタメ遺跡を全国的に稀有なものとして評価し、要望書は文化庁長官、埼玉県知事、埼玉県教育長へも同時に提出されました。市長は「要望内容を真摯に受け止め検討をしていきます」と述べました。



12/20 西中生の赤い羽根共同募金活動が埼玉県知事表彰授与

西中学校では、9年間にわたり北本駅前前で「赤い羽根共同募金活動」を行っており、この功績が認められ、埼玉県社会福祉大会で「埼玉県知事表彰」を授与されました。この報告のため、生徒が市長・教育長を表敬訪問し、代表生徒が「お互いに助け合える社会の実現に向けた活動をこれからも続けていきたい」と述べました。



今年も「街バル」の季節がやってきました!!

突撃!
市民リポーター

「きたもと街バル〜人と街とモノに会いに行こう!」は、購入したチケットを使って、市内のお店で飲んだり、食べたり、お買い物やサービスを楽しむことができる楽しいイベントです。

チケットに付いているマップには、バルの参加店と豊富なバルメニューが紹介されており、マップを見ながら、期間内に様々なお店を巡ることができます。

お店探しも楽しみの一つです。初めてのお店に入る時はドキドキしますが、チケットがあると気軽に行くことができますよ。

昨年は、家族でマップを覗きこんでお店を探しました。そして、夫はチケットを持ってラーメン屋さんへ。お店にも馴染めて、とても楽しそうでした。今では家族でお世話になっています。馴染みのお店もでき、食事や買い物を楽しむ機会が増え、前よりも北本の街に親しめるようになりました。

店員さんやお客さん同士の触れ合いも楽しいです。街バルのチケットとマップを持って街へ出てみましょう。美味しい料理やお酒、素敵な出会いがあるかもしれませんよ。

街バル期間は、2月7日(金)~16日(日)。その後、17日(月)~23日(日・祝)は「あとバル」です。街バルチケットは、北本市商工会、北本市観光協会、ザ・セレクトン北本駅前、参加店で購入することができます。

詳しくは3ページをご覧ください。



リポーター
佐藤 正子さん

市民リポーター

検索

詳しくは市ホームページへ



東京2020オリンピック聖火ランナーに 市民リポーターの山北陽子さんが選ばれました！

東京2020埼玉県聖火リレー実行委員会が募集した聖火ランナーに14,113人の応募があり、選考で75人、そのうち北本市から山北陽子さんが選ばれました。

7月9日(木)、中山道の鴻巣駅入口交差点から東間5丁目スーパーマーケットの間の約2.3kmを12区に分けた1区間を山北さんが走ります。



山北さんのメッセージ 昨年の夏に、都庁で桜をモチーフとしたピンクゴールドの聖火トーチを見て、すぐに北本のことが思い浮かびました。北本市の市民リポーターをやっている、もともとスポーツが好きな私は、絶好の機会なので北本を走って、走者目線でレポート記事を書きたいと思い応募しました。埼玉県から内定のメールが来た時はとてもうれしかったです。また、たくさんの方の応募の中から選ばれたことを後から知って、びっくりしました。当日は、まだどの区間を走るかわかりませんが、きちんと完走できるように体力づくりをして、少しでも北本のことをアピールできたらいいなと思っています。市民の皆さん、どうぞ応援よろしくをお願いいたします。

聖火リレールート



関連記事

1964年東京大会の聖火ランナーとして北本を走る 当時の聖火ランナーに選ばれた新井保好さんにインタビュー

新井さんのメッセージ 昭和39年10月6日、この日はまさに秋晴れの1日でした。北本の聖火リレーはまちを4区に分けて行われました。1区間は約1kmで、ランナーは4人とも陸上やサッカーなど、スポーツで活躍していた高校生でした。当時の日本は、戦後復興し、最高に盛り上がっていた時代でしたので、聖火ランナーは未来ある元気な若者を中心に選んでいたように思います。私は1区を担当し、中山道を中学生20人くらい従えて走りました。緊張しましたが、沿道を埋め尽くす観衆がすごかったのを思い出します。

歴史的な平和の祭典がもう一度日本で開かれるとは思いませんでした。当時を思い出しながら楽しみたいと思います。聖火ランナーに選ばれるのは大変名誉なことです。この夏に走る山北さんには一生の思い出になるよう頑張ってもらいたいです。

新井 保好さん

